(南京八日愛國通) 會見後川 越大使は午後三時須磨縄領事 終村書記官、喜多、佐藤、雨 宮、中原陸海武官等現地首脳 部の來邸を求め蔣氏との會見 朝末を設明、種々協議した結 果支那側にも相震の熱意ある

信頼し引鞭さ交渉を機 特のて川越大使は双十 特のて川越大使は双十 に決定し種々今後の野 が相に對し一切を報告 に決定し種々今後の野

在外公館に對し逆宣信

したいと思ってゐる

「中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 さ

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に 上 ま

「 中 に ま

「 中 に ま

「 中 に ま

「 中 に ま

「 中 に ま

「 中 に ま

「 中 に ま

「 中 に ま

「 中 に ま

「 中 に ま

「 中

本本日の会談の氏容はユニケで会談の氏容は富面の危機を何んとかして絶望といる非常文典に全般の印象を提供を何んとかして紹望といる事でも直接を何かとの印象を提供を行うない。要すると共に全般のではなり双方色は大変が表ではなりのでは、要すると共に全般のではなりのでは、要すると共に全般の関係を有してる事とのではなるがの事情をあり、日支には、一般になり、一

. TRUSTY 斯爾斯斯斯·斯斯斯 聯中谷時計應軟

臺灣軍司令

部聲明

實あり、この行為は明かに 要島無線山等要塞部の質慮所は明瞭に現れて居る事を撮影現像の結果これ等のを撮影現像の結果これ等の質慮等は同日同艦中甲板より社等は同日同艦中甲板より社等は同日同艦中甲板より社

の豫定である、尚稀洲電楽會る十日午後九時齋列車で來京井電氣課長並經避課長同行來

社入江副社長は十三日山田局

同太陽 キテル

を退くこと」なっ 力

に就任

の容認確立が第一段階である は些かの變更も許されず要求 はきかの變更も許されず要求

新駐支英大使

蔣氏ご會見す

日支交渉に關し見解披瀝か

れる、今後話合ひの進展につ

別鮮總督府山田避信局長は今 として殆ど確定的となり同行 渡。信局長、来満 られる某特殊銀行總裁の候補 松原純一氏は近く創立競表せ 東京図通)朝鮮銀行副總裁

知ってるますのよ…

氏(貿易業)同向間 でも遠はなくなりましたのでも かってまるりましたの なかったんでせう、たさひ意 なかったんでせう、たさひ意 りに、私のこさを心臓してく れてゐたんでせう、それがい つの間にか難に冷淡になって しまったんでせう、それがい まつてーー』 まってーー』 たら、遊覧祭に妙になってし

でではいってあられるんで たがことへ来られるこさにつ いて何さいってあられるんで



丸政和氏(滿洲國官吏)

乳房 â あ 3 第上級) 四 悲談み A F 之

G

PS 主 店盟加合組商オヂラ京新森阪日内金山

南介石南氏會談の內容は同日 の危機に陷れるか否かの重大 の危機に陷れるか否かの重大 日支破局切 支那の反對叉は交換的要求は 要求容認確立が第

平等の基礎に立ち 石氏談話發表

午後四時孔祥原氏別邸に蔣介 のみと稱してゐるも會談は自 を惹いてゐる 「南京八日愛國通」新任駐支 石氏を訪問、會見時餘にして 然日支交渉問題に觸れた模様 「南京八日愛國通」新任駐支 石氏を訪問、會見時餘にして 然日支交渉問題に觸れた模様

又も

一掃せんとするものである を登表したが、それは一方 を登表したが、それは一方 をであるが誠意を示せば又相手方も の完かがあると言ふれに趣ず るの絵があると言ふれに趣ず るの絵があると言ふれに趣ず を確信して居る テ

ク號の

変部長との間に具體的國交調 整の協議を開始すること」な

(日 曜

士)

駐支大使

英氏ご會見後語る

【漢口八日發園通】當地第三 邦商に爆弾

往

来

氏郎氏

同大連へ

社がへらぬさ言ひ張った。 はかへらぬさ言ひ張った。 だが、彼女は一宮さ結婚し てくれさはいはなかった。そ

最昌無線電氣商會與安大路二1○

行

■(3)二一五一

曹(3)二一六三

行

育(3)二五七一

悪質な逆宣傳の 國府外交部ご判明 近く支那に嚴重警告 出

一川越、霧會見のコムミユニケ、身つたやうなことをいと

の日く

自由を持たぬ事を高貨とし各 選大公使並に外関新聞適信割 要求なるものを放送してゐる 要求なるものを放送してゐる 恋遊宣傳を続ける

ふて居れ

あさう?いゝのよ體に。二人 『たあさんも少しお稼古した

これじや本類で支那の間も思

も群せぬとの整 新選々々と断ずイミシン 提載・簡単の實揚り、庶政

類母木甕相見殺しと出るかった。 **松**入組

総可、まづくこれ合の旅館養養、 か

はそれを知るさ、人生にたいする一切の希望を自ら歌念して身き載代子さの関係を高のしてから悪々に知り、あれだけけ、女にたいしてはどう様ほどの値打ちのない

てある。 ないわれる

気はなかつた。事代子はそれでないこさはいふまでもない だが、それは郵代子の本心でないここはいふまでもない。

けを誘ひはしなかった。 横波女は玄殿へ上るなり、横

コロンビヤ社製品に限り 森 景品を附せ 洋 本 日本ヴィッター 行 新 京支店 會 中央通四人 帝(3)四七二五

合組商オチラ京新 田 和 開 協 東 中 伊 田中無線電氣商會 新京百貨店蓄晉機部 丸十電氣 無線新京支店電公園加工の九二八九 ラヂオ部 店田木橋通一人 行 行 行音等町一大 行 奥安大路六一〇 ■(3)三一六一 日本構通七八 を (3) 四六七三 職(3)四七五五

ゼヒ 左 0 用 世(2)四八九七

日五月一十;日五月十

四校共同落成式

昨夕二ヶ所に

警戒管制と空襲管制設備要綱

石田中佐の講演

する諸班の指揮法、警察官憲消防職長の消防職に直接協力

増設の第七小學校

第三學期から

入連貯金管理所員

いものではなかつたいものではなかった

森矗昶氏來

鮮經由來補の

次式・ タスタス笑ひ出 は朴が自轉車で通行中前記 のるので朴を取り調べたが

事をしでかしたものである 市紅葉町協造商會外数ケ所から四千数百階を借り此の支排 が出來なくなり登にかゝる悪

- 假名=の人相に酷似して安北道生れ朴吉達へ一

査の結果與安胡同六百出により青年學校につ

動務し 動務し

少女暴行犯人
こ誤認さる

大詐欺を働く

二萬餘圓を詐取女を落籍

保健に及ぼす

吉

取締規則制定は

のと希つて居る次第

☆報告があります、次に し者は 1/3 に相當した かい所に居住して居る者 所に居住して居る者の約三倍の閉き即媒

氣管支炎や

せ或は死亡率を高める理由と ・ 戦を受けて病症を急に悪化さ ・ 戦を受けて病症を急に悪化さ して感冒の誘因を作り延いて います。呼吸系統の粘膜を刺戟をす。呼吸系統の粘膜を刺戟を います。 いっぱい こうのであり は氣管炎或は肺炎に容易に移

二ヶ所の死亡率を比較し 一九二八年英國の石炭 にと云ふ畢であります。是 し一九二八年英國の石炭 だと云ふ程であります。 たと云ふ程であります。 たと云ふ程であります。 たと云ふ程であります。 たと云ふ程であります。

に依つて起るものではありま 率の増減が必ずしも保煙のみ 率の増減が必ずしも保煙のみ

はなられた。 はなられと考へます。 な関係があると云ふ事は認め の人體に及ぼす影響は相當烈 の人體に及ぼす影響は相當烈 に考へて見ますと直接的のも のと間接的のものとに分ける

増加すると肺炎患者が急増し と云ひ又煤煙の多い土地と夢 炎の最高死亡率を示して居る あります、是に就て

年資齡格

十七才――二十二才迄高女出身及同等の資格者に限る

女店員集募

場所

所 中央通中央郵便局前 事務所、宿舍向 二階、三階全部、二百 二階、三階全部、二百

二百十年

希望者は自筆履歴書持多の事

新京中央通り四八

中央通二一(輸入百貨店前)

新京大和通六一ノー(太平旅館費)

ケ年間の降煤量と死亡率 て起るのが主なものでありまと共に吸引されたものによつ

貸

北安南胡同六一〇 康德會館奏

設備瓦斯、風呂、水便、等完體

御問合は「電(・)二五八九番

間取、八疊、六疊、二疊

市内に確實な保證人のある方市内に確實な保證人のある方中 央 通 新 京 神 社 前

女中さんを求む

石碑嶺大根大賣出し

形形 (8) 图 图 屋

新京交通股份有限公司總務課

宮風機の店 森

第 (3) 川太川大瀬

家間場 質取所

四条书間三条一間

三十五直(浴場、水道完備)

御希望の方は置る二八八八番

して肺炎の症狀は重く且つ致 地の學童は妙い土地の者に比 地の學童は妙い土地の者に比

のか見ますなれば先 | 直接の有害作用とは環境の有と降域量との関係を調

manufacture of the second

ムを徘徊中原語所武智巡査に が改札係員の際を懇つてホー 正金支店支配人

トル製版を有し要帶者にて三十才前後身體健全にして市ると身元保證を要す

外交店員募集

希望者は世態書持念せられたし

新京三笠町三丁目五

E,

ル・キャピタル

テイーバーテー

踊り放題(紫江画)

バンドダンサー總出

三號號

1

白ばら會

キャピタル・ギャピタル

十日(t)二時より五時迄

雄(二七)の兩名は元手なし始良郡加治木町、同上長濱末

大栗原重康氏と新支配人大村 香太郎氏の更任披露宴が來る 十五日午後六時からヤマトホ テルで日満各界の代表二百余 名を招待して行はれる 更任披露宴

どんだ濡れ衣

青年學校生朴君

伊藤參與赴任

二十歳前後の男子店員内地人に限る

履歷書持多本人來談

西四馬路二七

カネタ

パン店

キャピタル・キャピ

国都のオアシス

ダンスキャピタル

道出張所長伊郎太郎氏は九月 ・した、輝には軍、日滿官公衛 ・した、輝には軍、日滿官公衛 代表、一般民間別名士滿鏡祉 で出登赴任

を希望する、尚材料は各自持 を指いて來る十二、十三兩日 建國路白菊豪に於て家庭向洗 雅講習會を開催するが會員に 雅講習會を開催するが會員に 洗濯講習會國婦電人

新京日本橋通七八番地 一大番地

稀蒙殖 監株式 會社出張所

二階、六壘、八壘各一間 階下六壘、八壘各一

日本橋通七八番地(安利個科特院跡)

器張經

音樂教授需用に應ず新族人民西積公里を

民晉

樂會

間場
取
所

間博士逝去

問題に就て座談會を開催する は供業部に於て國內電氣統制 は供業部に於て國內電氣統制 入院加藤中八日朝七特廿分逝 激氏は肺炎のため慶應病院に北里研究所部長騰學博士草間

新京西五馬路七三(電の一七三八)

▲本社主催淨月潭カメラ作品 展第一日、釋前大與公司陳 列所 本社主催小八家子見感締切 午後五時 不行協會第一期會員申込締一後五時 千思

水洗便所、風呂其他設備完備

八日闘東遞信局長の告發によ「大連國通」大連署では九月

日ら常総町郵便局外十五ケで六七回に亘り貯金二萬一八十圓を引出し遊興に費す 共に前記ふみを昨年十二月 共に前記ふみを昨年十二月 共に前記がので連捕と同時に犯

盧璃德一座公寶第一夜、公 後六時、中銀俱樂部 後六時、中銀俱樂部 會堂

されてゐる、尙は右犯人は大ちしい大事件として成行注目

八家子見學

申込明日限り

俄然人氣湧いて定員近し

時で申込と同時で申込と同時で申込と同時で申込と同時で申込と同時であるが申込と同時である。

CIII) MOI III

る。五の七一

き急募す

申込場所は本址事業部電(三)



ゲ 1 女船 一日より 領事館前第五錦ビ 女女女 に就

三階 (基本) 三戶店 舖 約 十 坪 二階 (基本) 八重 電 三戶店 舖 約 十 坪 會葬御禮 清 水 末

キヤパレ

佳木斯中央大街

松

大猫族が

タイプライタ

◎時間確實◎

名題の顔觸れ揃へて熱演!

御用意は是非弊店 氣運器かなれど

東西 一梨園の

日本一を誇る 座八十有餘名

し通全でま懐本りよ向下使勅・てし指目を興作の神精本占る誇に界世

十十 日 日 日 二日間即

0

告

0

用

11-1111100#1.0

督監男邦邊渡

子蘭井花 • 子玲

星

映

遊太三一舟大早田忍衣勅 興中腹散れ定打邸傷蓮來

四三二一〇九八七六五四三二 別本岡岡同吉雪勢東岡岡山展



京

0







部一の品價特

同純毛

ルピンア 九日 日(土)十

防寒用品等

東雲織、美裳織、 本場大島紬、 毛皮類、 婦人オー 訪問着、 散步着 3

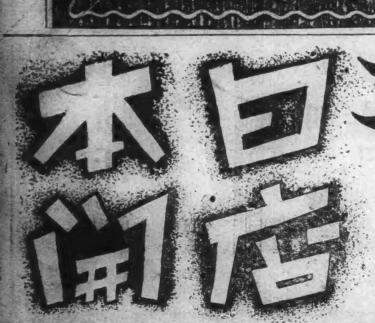
精鋭を

愛 ż 0 二五 N 致

£

£

何モ



電話(3)5151番

一日间二二日間

蛋白及油脂の生産ー

がある、その一としてショルば乾燥木材一〇〇瓩を分解し

得、之に酵母を培室

に依りて、約二〇旺の乾燥酢 に無機の篭業化合物を飼料と して利用する研究は、各種の に無機の篭業化合物を飼料と して利用する研究は、各種の を選による方法の他、

一年に成功し、 中に成功し、 中に成功し 中に成

推特 九百六十八圓 推特 九百六十八圓 將工事 將工事

はならないとされてあるマス ばならないとされてあるマス は半毛は不要だといふやうな 論が對藩通商擁護法の設動で と言はれる 本プロック銀國經濟 に断るといふことでなく、い かにじて我らの窓望と文化生 といふ所にある 本版大な牧羊 といふ所にある 本版大な牧羊 といふ所にある 本版大な牧羊

●率天鐵道事務所 ●率天鐵道事務所 ・新台子間四三一 K、 ・ 開田 年一

奉機間通信線一部改設工

鴨綠江今夏の

▲乃木町一〇、一、鲱配宅外 五棟部分塗替工事 接特 一千二百十五圓 兼輯 一千二百十五圓 東頭 助市 水工事 水百六十八圓

融 能 完 外

· 機關風職場新設工 · 諸工事

日本人組紡績 日本人組紡績

本札 三萬九千五百二十八 東京 1、490、90 日本 橋梁 東京 1、490、90 日本 橋梁 東京 1、490、90 日本 橋梁 東京 1、490、90 橋廖浩船所 東京 1、490、90 日本 橋梁 東京 1、490、90 橋廖浩船所 東京 1、490、90 日本 橋梁 東京 1、490、90 日本 橋梁

▲日出町七、一、一、社宅外四七戸木部ベンキ塗香工事業特 六百十三皿 外外一一戸壁ベンキ塗香工事 単獨 七百五十七圓

整数 00 00 本等 中向 一人 100 向 一人 100 向 一人 100 向 一人 100 向 五五五0

本伊通河第二橋梁鍋桁製作其 他工事 他工事

土建ニュー

一〇〇とす 一〇〇とす

奉天鐵道事務所

0

なほ百萬圓程度に達す

問類別に依る指載を示せば次

昭和大年十一月に比し指数の昭和五年一月に比し指数の昭和五年一月に比し指数の昭和五年一月に比し指数の昭和五年一月に比し指数の

年同月に比し一分二厘階

全般的に騰貴す 0 小賣物價

翻東局官房文書課調査に依る 新京に於ける昭和十一年九月 分の小賣物價同月十五日現在 の概要大の如くであつた 一、謄落朝合(重要品目三十 六種に付算出) 昭和六年より三割九分高

| 大田 | 100°C | 14°N | 100°C | 14°N | 100°C | 15°N 九厘) 白米、無檢查一等毛糸、內地物(一割)分

リヤ

本 (本) (20) (20

第二回 1、100、00 日本 1、100、00 日本

外 燈 増設 工事 風牡丹公園の外盤増設工事が 人札される管

へ、230、00 中島 平治へ、230、00 中島 平治へ、000、00 中島 平治への0、00 (利用 商會を (利納線 (場所 本今井組 (場所 本) 一个所鏡析ベイント発音工事 (当年 (本) 十二百五十六国ニト。

機曹▲七百百百五 市力限限限市 ルカーー俄

股限 交流 (O) 表示(A)

大阪棉花

各地商品市況

2,20

4,07

5,09

日より以日まで

6,27

8,14

9,16 %10,20

仙仙仙仙仙仙仙 七七八八八九三 六六七七五九九

深**凌**南間帶造**物**築造

の勝利へま がならぬとい

日前場)

・ナラ



京取引所市況

▲東京株式 (短型) 東 新 東京株式 (短型) 東 新 東京株式 (短型) 大 新 新 東京株式 (短型) 大 新 新 東京株式 (短型)



一向

|| || 二六



大

連

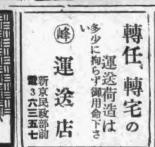
各地特產市況



話

店

12,00



五文上憩夕黄金上/卷一五六一艺(2) 電 四-四路大安

約

行

家庭用化され

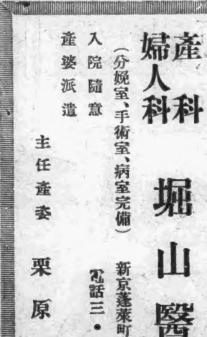
た

成。

吉,

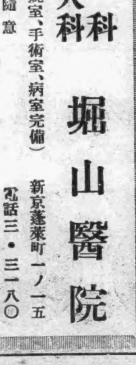
斯·



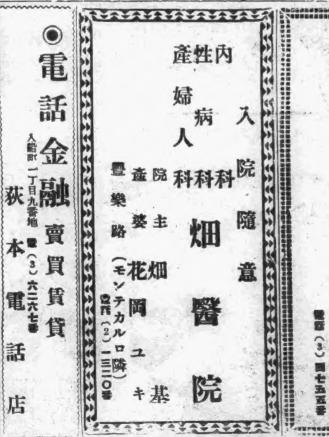


喜

固定四價







決意を眉字に浮べながら「も c のみだ」と多くを語らなかつを終つた酸陸軍武官は悪社な のみだ」と多くを語らなかつ

首相歸京と共に

政局、頓に緊張せん

かに代案を作成する要ありと
山有様なので此の際可及的連

あるが、未だ何等目身もつが代案の作成に就て協議中

を表明した結果、情勢は極度は国、伊、葡三國政府の公司

對しては電氣協會に於て之

重要諸懸案の最後的決定へ

無を暴し多事多端を豫想され 一根、等内陸相、永野蘇和、有

電力國策に副ひ

併を斷行か

渡陸軍武官語る

水としては事實に立脚して所信の貢撒に邁進せねばならめ、然も驚くべき事は兇行に使用された爆弾が實に完全那當局が常に外人保護、邦交敦腔を口にし収費りを設置

なる軍用のものであつたと

武漢方面の

めて悪質なる流言を流布す。武漢三額には對日挑戦的の

者あり、爲めに同地方の排日

悪俳日空氣

界居住支那人中には事件の設

(-)

一である。川越、霧雨氏會談の内容に就ては、前外相官邸に省首臘部を招致して重要協議、東京國通)人日の川越、霧雨氏第一大會談

ででいた。 で表介石氏との間に随時會談を行ふ豫定であるが、討議は川越、蔣崩氏會談の原則論を基礎として具體問題に でお介石氏との間に随時會談を行ふ豫定であるが、討議は川越、蔣崩氏會談の原則論を基礎として具體問題に で折衝の総績により一應日支闕係の打開を期し得るとの自信を固めるに至つた模様である、而して今後は必要に 変折衝の総績により一應日支闕係の打開を期し得るとの自信を固めるに至つた模様である、而して今後は必要に 変折衝の総績により一應日支尉係の打開を期し得るとの自信を固めるに至つた模様である、而して今後は必要に では、蔣蔣氏會談の内容に就ては日支尉高間の申合せに從ひ外務省整局は一切極极に附してゐるが、 東京國通」八日の川越、蔣麻氏第一次會談の内容は九日早曉に至り外務省に評電が到着したので有田外相は同日

【寫眞は川越大使(上)と張群氏(下)】

言語

自然國

漢ロ爆彈投擲事件に關して

中津海軍武官語る

手以 【頁二十刊夕朝版本】

內地受信 使用差支

交通部布

和規則の誤傳を是正

付属幣三ធ五角と決定したい政部は十月九日産金買上債格を一瓦に

付國幣三圓五角

9

王座

又は一八〇キロサイクルへ 電波長一、六六六メートル 高点のであつて後者の一八 高点のであつて後者の一八 が新京綜合放送の満語放送 が新京総合放送の満語放送 である規則に比し新たに追 である規則に比し新たに追 であるたに追 であるたに追

適合しないのであるが、或る てゐる受信機は前配の規則に

新京標事處を新京長春大衛二率天の金銭精錬廠は十日より

新京に辨事處 奉天金礦精鍊廠

定の條件の下に特に今回に

吉田電業社長

長は來月十日頃間靴の確定

會址吉田址

石本惠吉男着連

な

會談

活せん

雨日前に完了し來る十日モス成立したが其の綱目交渉も一 に**脳しては森に原則的額解が**

川越、蔣會見の原則論に基き

具體問題の討議開始

事となった。 事業計畫具體を 事業計畫具體を るが同社の類末を を

者續出する實狀にある

北樺太油田

契約

権を獲得し、新に協商地區四區の試制

来まで五ケ年延長するの協定 加重される ・ 東京國通】北澤太油田試棚 三、ソ聯人從業員の待遇改善 ・ に関する施設實施の負擔を ・ 本スクワーで調印 二、南方三地區の試捌檯を再

四班牙不干涉委員

獨政府も

[===== ル八日設調通 安定運動

の仰へるところによれ 言を發表して以來通貨安定の英米佛三興政府が通貨安定宣

イン革命軍飛行機数強は八

の石木邸に入つた

革命軍飛行機

マ市を威嚇

あじあで來道、直ちに見玉町 像参列の鑑入日午後九時半着 像参列の鑑入日午後九時半着

仮政府に離順せよ、我方でドリッド市民は連かに

世廿十十一月 五四日日(祭) 日(日) 日(土)

着々と陣形を狭ばめつゝ首和レド、北方はダアダラマから ▲川崎司郎氏(司)同 ▲吉田元一氏(古素)同吉林へ ▲小野寺直助氏(九大教授) 同 ▲五十嵐保司氏(電腦)九日 一年前山凝糊へ 全佐々木正光氏、同京城へ 「東京城へ」 「東京城へ」 「東京城へ」 「東京城へ」 「東京城へ」 「東京城へ」 「東京城へ」 「東京城へ」 「東京城へ」 「東京城へ」

▲小野寺拾次氏(補鑑)同本版田修一氏(官吏)同延吉へ ▲田中定氏(銀行員)同 ・サチベルより

ドリッドに肉薄、八日には

し乍ら福逸南國政府が不干 - 張が李賞上は 監測委員會を設置する - 課はなくソベインとの関連地帯に中立 - 沙協的侵犯の

曾から耿湛するのではない

一九三九年までに

英新聞王

ソ聯政府的

形勢重

新荷着特價大賣出し



往



增產期 計畫樹



原博士を訪問、日米お天氣の交職をなし同枝節を伴ひ五日午前十一時中央鬼禽台に同じ

は八日午後六時から人以中の【大阪関通】足政党問西大會町 田 總 敖 演説

対がら人以中の政策関西大會

4

アメリカのお天氣博士

藤原博士訪問

シスコ気象

1 1 1

野は御史芸術の

切

後五

小八

%子見學

社聞新日日京新催主

社會通交京新援後

込所

新京日本新京日本

(3)营(3)

BOILTIA

= XXO#

大會に於る

を持つ團體が数多く存す

に在つて、その思想 動的 も本に於ける理論的 も

政治現象

(=)

リッやイタリーのそれらか、 実が用ひられてゐる。「日本的ファシズムといふ! 日本フアシ

が、何がその特殊状況があるためである筈

製、無動力五千九百廿一隻、 国本人は發動機附百卅隻、 無計し、 一二百廿隻、動力を有せざる漁 に出演するもの設動機附漁船 に出演するもの設動機附漁船 に出演するもの設動機附漁船 に西廿隻、動力を有せざる漁 を下附してその契勵に努めて を下附してその契勵に努めて 五百人内外に上る

八百九十二萬萬(西安、北票等その主なるよめで、昭和九年度の出炭額は

施旨を容れ之に多少の修正を加へて梁界、財界其他との顧知へて梁界、財界其他との顧知では民有國營論が有力に稱るして國有國營論が有力に稱る。 本のれ、殊に入日大阪の民政 「電力國有國營」の提唱を暗 正子男 今月末奏行された、而して右三相の間では大 最後の工作を取急ぐ事となっ た、而して右三相の間では大

一元するが如き機能を行ふに至った。即ち國營業を固執し、 変上絕對反對の態度を表明し 来り、又類母木遞相は從來公債政 策上絕對反對の態度を表明し で民有國營業を固執し、協海 軍部側も之を支持しこれ以上 電部側も之を支持しこれ以上 電部側も之を支持しこれ以上 のの國有國營業を固執し、協海 案を決定するも政府としては今 を決定するも政府としては今 を決定するに當りこの政黨 のの國有國營論を如何に 相の斡旋が注目を惹いてゐる 別商相の立場は相當困難視され、三相會議の再開と共に商 に就き政府民政 以下、三相會議の再開と共に商

第一篇四篇 第二回資 寄領類) 相場

ラバ 二八四四四二八四

電力案の大綱 今月末迄に 决定

態度注目さる

本視察の省長 第 ●引 ● 回日上 上 質賣 海 (十月)

九日後場) 濟電報

軍、支那駐山 成病院に入院 の電子を がな端支情報 かな端支情報 かな端支情報 かな端支情報 かな端支情報 かな端支情報 かな端支情報 かな端支情報

でするに相應

鲜魚小賣相場 野二人の女 ヨニャ、大人のの 形交換高(九日) 二三二人三 四 七 二最后 付 九 ○ 高 九 日 一 七 七 長日 八九 ○ 四 八 二 任 日

语 物

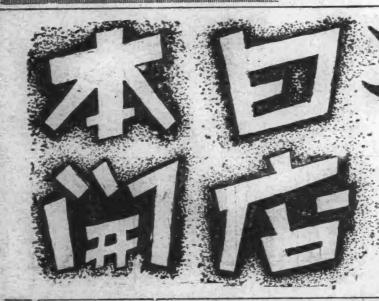
(十月九日後楊) (十万九日後楊) 出來高 出來高 一軍

五七 八次 天事

たが、 大阪の工場数千 一億千二百五 一億千二百五 一億千二百五 一の工場数千 一本のでは約十 の各満に四 特種 軽 満 倍 税の野流事 て領性

不限 415,000 本横横 生 糸 各地商品市況 新京取引市次 91

.00 Mt



.5

順天医院 三八八〇番

数券 現金又は期間中二回拂にて。御胃上の方に20周毎に1枚(端敷は1周毎に補助券)進星品 各營所別に下記動業債券進星一等 二等 三等 四等 五等(1本宛)(1本宛)(2本宛)(3本宛)(5本宛)賞品は昭和11年12月1日より10日迄 御智ト祭本郎にて御新しみします。

即買上營業所にて御渡し致します

柳病科 中市 愛門院東門前電話(3) 三九01番

KOWKOWKOWKO

鍋もの、 御宴會は特に勉強 四十人樣迄御引受け致します 出前は迅速に御届け致します 鯛茶、釜めし

天ぷら、

鍋物、

壽司

川海御料理

うな

蓄音器とレコー = (3) 木笠 紀洋 M EE

關

(七)

加方面への輸出

製造治線の發達と共に諸工業外見るべきものなかりしも、 才從來は**搾油、製粉、酒造の** 労力共に低廉豐富なるに拘ら

を交付する等観撃之が保方面への輸出壁に對し獎

ズ 石(選料原料硝子配合原料並石(選料原料硝子配合原料並石(選料原料硝子配合原料並一一線區の外全部休業中である。に製鋼用耐火材料)の外見る一線區の外全部休業中である。工業原料としては將來を騙目工業原料としては將來を騙自工業原料としては將來を騙自工業原料としては將來を騙自工業原料としては將來を騙自工業原料としては將來を騙自工業原料としては將來を騙自工業原料としては將來を騙自工業原料としては將來を騙自工業原料としては將來を騙自工業原料としては解求している。

多く漁業上利便の

業となつ

設議を起げ今や州内の主要管

百

日八十二、就業勞働者

に努むると共に関東の政警設達を置るた

田本内地よりの出稼漁業者は 南二十九戸、四百七十一人で 百二十九戸、四百七十一人で

るる てゐたが、戲よ十三日の閣觀、は大演習の爲一時中絕となつは大演習の爲一時中絕となつ。東京國通』電力問題に難す

れ自身発明に値ひする。そこに、何故に統一、そこに、何故に統一

四十二十四十

こ統極と

度態と得せられ、その露天掘 関態と得せられ、その露天掘

露天掘

三浦漢 爆彈 領事

事件に關し三浦總領事は直ち生した邦人商店への爆弾投機

理事件直後三浦總領事は語れ人の逮捕方を要求した。

(企 主)

動ではなく、特殊な機

れはド

防の見

買つて國

(東京國通) 陸軍省が發送 問繪葉書 傷病兵慰

....

定歸往日

員路路時

百名

限り

午%三時天主堂前出發午後三時新京到着午前九時半驛前集合、同十時出發十月十一日(日曜日)

デオ普及會社

0

晩秋・メイクアップ

國境都市滿洲里の

値段は左の如し(一聴奮り) をへて先月よりは精々高値を 整へて先月よりは精々高値を がしてゐる、即ち各般の小賣

一間五〇銭高 前月同値 前月同値 同一上 の銭高 一間五〇銭高

圖們地方の

永年の歴史と複

石炭高値を示す

大增收 大增收

行列内職は左の如くである。 資は銀計二千九百六十七萬二千八百六十三圓本年度襲算を 突破すること百二十六萬七千 九百十五圓前年同期に比し實 に建材鏡石及び内地難貨の動 に建材鏡石及び内地難貨の動 に建材鏡石及び内地難貨の動

満洲國に協力 産業の開發に當る

「大連関通」新任務・選挙の 参列の驾驶定を早めて入日を が石木君とは中夢時代から か石木君とは中夢時代から でなるも大髪の張く思 がない、清鐵では私に監案 がない、清鐵では私に監案 がない、清鐵では私に監案

圖們鮮人居留民會

移管準備成る

間島各地鮮人民會も共に兩三日中に

印毛糸

一層努力する お派め油選定の目標は Branc











新京中央通136 軍(3)3346-2546

公布せられ た

所保 八月末現在 八月末現在 八月末現在 八月末現在 八月末現在

展刊一 般法

工廳株式會壯大連出張所

松岡總裁師連談 【大護園通】松岡溝銭總裁は 新京に於て石本理事の訃等に 接し旅行を中止して八日午後 九時半大鴻斎あじあで野連し たが、左の如く語る

職電だ、酒だと押し歩く着白 の青年を見る時齢りにも使命 に一球の承しさを養える に一球の承しさを養える に一球の承しさを養える 支那擔當は 放回を離れ触

琿春縣巡視

金井間島省長は を外一名を帶同し

煙草の喫ひ方

な

++++++

ニコチン中毒を防ぐ

めるやらにします。
◆ (◆ 定、中国室 ー 夜間 六十五度、登間 六十五度、整間 六十五度、高温 一 夜間 六十五度、高 に からば、加温し始めます。 け少し加温して、鈴温でを明 たならば、加温し始めます。 け少し加温して、鈴温でを明 たならば、加温し始めます。 けっし、あまり高温になりましたすらは高温して、鈴温でを明 やら注意しなければなりませか やら注意しなければなりませか やら注意しなければなりません。 向ほその前に一度加温し

◆)◆ シュリャ等は、 満谷へを行はなかったもの等は皆権系替へて、いよく 選挙等の第一歩を進めなくてはなりません。

大和運輸の車備有型を対域及建築土木材料一般可能及建築土木材料一般

認公

話器金融

治療法研究生募集 場所等職3六四六七番

希望者來談の事

格名其禮多領政 ○賈貫は老舗

とり茶園

マングライタシー マングライ タング イタシマン タ

新京東三條通橫 上 田 商 行

砂糖卸小賣

坂田仙八さんら

(四)

手権に出來る

011,111

後七・〇五……東京より…

の番組

(新京 放送層) 一日(土曜日)

会「親は七日の物忌みして、 に東寺 羅生門の、鬼神の腕 に東寺羅生門の、鬼神の腕 に東寺羅生門の、鬼神の腕

四〇七號で三四七一二級後衛が元曜山

電話窓六七二七番

回一 全回回回 阿金金金 八人四六 十十十十 汉致鉞代

東三周結無線電流下 東三周結無線電流下 東三周結無線電流下

男女十二名

命

腕利き揃と

旦案內

本會へ

中央郵便局面

室

速迅切一极取

京土地建物會計 明日通十七番地

23四八二八

満鮮ビル

登記(2)四四〇七

赤玉カフェー西横入 金叫 份实

タイプライター印書、飜譯、文章立案 一般代書 一般代書 一般代書 一般代書 一般代書

ムロイマテス



新座敷 と庭園 切原の

国丁二町級 書六九〇五(三)清

◎親 稽古致 L 主

長唄舞踊教授

男女求主及求職者は至急申込れたし 女中募集 新 届主 主は無料の職業紹介所の機構をは明している。

質流れ面 位出勉强 3 極簡軍 大安 賣

調辨所 13110七日

· 到 新 新 米

印刷 三丁目廿六 京永縣町 東京永縣町

七和并行 堂

0 お嬢さん方 婚。前。の 日頃の手入れーツでお顔が美しくなる **産の方がニコチンが少**

秋崎の生きのい のでこし

國煮 な酢少々と清汁をそんなぎを添へる。

デオド

後六・三〇(車

らへまずとま いものでござ 【材料】

二、〇〇 經濟市況 (東京) 二、〇〇 經濟市況 (東京) 二、〇〇 三ユース

同味同同唄館

四、五〇

周

和長

能 項(東京) 特一

四 二 (回 (回 (回 ()

000

● 備考

を追加する場合は

サック

少少一(五人前) 《女尾(五人前)

こございます。

味の

園

◆ 季戸外に取り出し て、加温整體の故障の有無を ・ 搬入した當座の数 (下) (温度が下降し ・ 搬入した當座の数 (下) (温度が下降し ・ 搬入した當座の数 (下) (温度が下降し ・ からたならば、加 ・ からたならば、加 ・ からたならば、加 ・ からたならば、加 ・ からたならば、加 ・ からたならば、加

吉野町一丁目

お茶を茶道具 金 昭

東京(3)三十〇九番 目三日

一記します 電話3三三三四番

鍼灸術教授 線糜マッサージ術 線長按摩マッサージ術 原護男女多數 高橋治療所 高橋治療所 高橋治療所 高点性治療所

宋松接骨院 宋松接骨院

すまし貨で用信ずせ更變儀名

社會式株融金和昭

帳簿專門 ほね

京が生代 某外國百貨店にて 方を望む。希望の方は日本橋 通一七秋林洋行へ御申込みあ 東一條機詰

30 大橋町1 - 九(ダイナ海標) 水本電話店 お買入れができま僅かなアタマ金で

神ツク へ 衛士町ニアー五 第士町ニアー五 第士町ニアー五 ・大サザル事参 〔七二六(3)電

秘密即時、

陽堂療院

灸鍼 あんま

ぶたまん事門 帝キネ裏 **電**(2) 一八五五 成 P









(そ) 喜ばれる季節になけ方は容易なものです。原料には酒の練り粕と焼酎を用ひたは酒の練り粕と焼酎を用ひた。 ・ 練り粕一貫に燒附の七人(強強) から水でざつと洗 つて漬け込むので

本位切り身にして漬けられまな 本位切り身にして漬けられまな 本位切り身にして漬けられまな けっ。尚ほ漬け終つたら堅く監査 けっ。尚は漬け終つたら堅く監査 して、これます。漬ける容器は かのあき物がよろ しいが新しいもの だつたら一変アク だったら

東京無線

孔子様(二) 1.00 E00

八四五八八四五 10,00 九,00 雅

七、三〇湯 **康七 #七**

大和通り六五(金光教的向) 平安町一丁目九信学会文章立案、 金融。 病院 備完大. 海际人

タイ フライタ軸

助會教光金·四五語版一東京美 社成萬

はもうであった。となって現場が出来くらるであった。

「昨日の晩方に、卑敬は船 が不確かではいかんと思ひま

一と通り話した。 最初就領は、その耳を撃立 でて後の話を離いてるたが、 やがて段々喜色を現はして來 た。最後になつて思はず大笑

が語大はそれを受取り

· 發養元

五十兩を振恤

次の日早朝、駐は先づ府の 大勝諸し、暫らく考へてゐた だ勝諸し、暫らく考へてゐた が、後に娍外に赴き絨領に會 ふやうにを言つた。

来た

「どうぞ」

ぎになつてから、船から使がて來るのを又待つた。二時過

ことを承け合ひます、ですかっことを承け合ひます、田舎の者

粧は早速又これに禮を言っ で、それから辞去した。役所 に歸ると、下役たちを呼び寄 せ、これから仕事をやると傳 つ。又威勢を付けるために城

はらして貰へると知り、すぐ 明れたお役人であると、一齊に 叩頭して稀頭した。そしてみ んなで駅子を提出したのだつ

といふことであつた。 ・ 主は船に上つて行つて統領 に合つた。先づ昨日の酒の禮 を言ひ、それから腰を卸して ゆつくり受けの事を話し出し た。粧は昨夜の事を一と通り

群はこれごれ然か然かと、

横へてやつて来させた。 諸事用重成るや、莊は席に 坐り、一と組の遠中を審問す を見渡して、やつばり例の愁 相苦敵の表情をつくつて言つ たのだつた。

在右に言ひ付けた。 一これによると、趙大は家を 一にれによると、趙大は家を がれ、小作人を一人殺され

を袋に容れて携帶せねばなら なかつた。 宿營に齎いて天幕の用意が 相楽ると私は織銃を持つて出

も治す力があるものと狂言し すて來では病症を解からぬ言 薬で訴へた。マイヤール纏は 薬で訴へた。マイヤール纏は

覺えた敬語であつたのであら 督教の傳道か何かの折に聴き

官場現形記

るた。莊は、統領が困つてゐ でながつたと知り、心中甚だ でながったと知り、心中甚だ

賞推薦者中にはいつでゐるかと言ひ、更に

秋

0

出に関かしい悲しみを繰り返土となつてゐる亡き父の思ひ柳樹に囲まれた墓地のなかの

白輝の樹にもたれながら、その上忠賞な部下達は父の命 强紅玉(ホメニイ)は物思ひに 令一下三十騎近く、直で標果 を紅玉(ホメニイ)は物思ひに 令一下三十騎近く、直で標果 をこれた、もう幾時間もの間紅 器を手に腰に下げて集まつててゐた、もう幾時間もの間紅 器を手に腰に下げて集まつててゐた、もう幾時間もの間紅 器を手に腰に下げて集まつてこれ代石したものゝように、來た。瞬く間に掠奪の準備が 頃 動きもせず、今は白樺や、

玉

中で、父の振り上げた掌の合 画に無言の儘、右に左に、前 進も後退も適法にやつてのけ る様に、自然のうちに訓練さ れてゐた、父は部下を愛し、 公平だつた。部下も父を極愛 してゐた。父は部下を増すここ とを望まなかつた、常に自由 た働き振りをしてゐた、然し 人の心程信じ難いものはなか つた。彼等にとつては密告者 で、右に左に、前 被等は夜の光の 後等は夜の光の

く、彼等

當つて西蔵人の部落があつた が彼等は天幕乃至は支那風の を作つてゐる。西寧からこの を作つてゐる。西寧からこの 人が、その一頭を射殺して対して跳れ廻つてゐた。一支那 のでなかつた。山脈の南側

新疆入りの計畫に就ては用心たが出來たと思つてゐたがことが出來たと思つてゐたがことが出來たと思つてゐたが 我々は無事に彼を續けた、

性の

は中管を使用して再發を防止されたし。

とうとこれで、一人とこれである。 たいの 一人とこれである。 かに 内服薬、或は洗滌、注入、注射態等でで表面にあるにあらずして、尿道粘膜の 側管を置食し、潜在を固にあるにあらずして、尿道粘膜の側管を置食し、潜在というという。



此の慢性淋疾を根本的

ルは

敷ケ月、或は敷年、

全治するは極めて至難の業である

長春醫

院長 徳 丸スガ

冬の一

電の六二四一番

新

新京神社・スグ前

る慢性淋菌をも、

殺菌し得る最新の發明薬である。

ちらとしては夫で満足であつじに玩弄物覗してゐたが、こしに玩弄物覗してゐたが、こ

食用には適しないことを設見 がなかつた。獲物の總数は 羊八頭、野鴨五羽、雉四羽、 塩二十匹でその他電鶩やック がそも多数あつたが是等は

六歳にしては氣丈夫な紅

壁からマラリヤに至る迄何で 整の仕事に大童であつた。 酸の仕事に大童であった。 酸の仕事に大童であった。 は など毎日病人や負傷

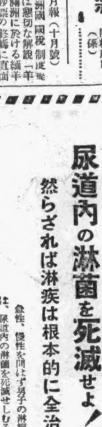
た。後等の中白人を見たものた。後等は自分を牧師サンと呼んを当でなかつたので、後等は自分を牧師サンと呼ん

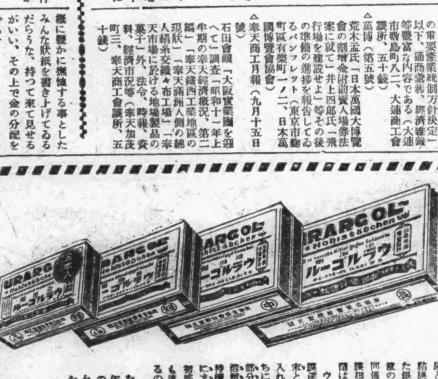
本萬博(第五號)
本萬博(第五號)
本萬博(第五號)
本萬博(第五號)
一直時(第五號)
一直時(第五號)
一直時(第五號)
一直時(第五號)
一世中の地梯の進捗を報告しての地橋の進捗を建設せよ」等その後
一世中の地梯の進歩を報告してのでは、アンレット(東京市翻
の地橋の進歩でリット(東京市翻
の地橋の進歩を報告してるの地橋の進歩を報告してるの地橋の進歩を報告してるの地橋の進歩を報告してるの地域を表

特には冷い雨が降つてゐましたね 雨の中には街豊が酷つてゐましたね あわたゞしい夕暮の中に たり「さようなら」の摩だけを強してあなたはいつ

ツァイダム澤地
の東邊にあたる丘陵地帯を下
の東邊にあたる丘陵地帯を下
の東邊にあたる丘陵地帯を下

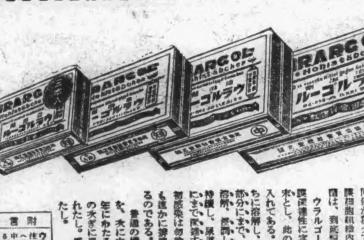
一來で始めて野生の誰を見た。





- 三時間より六時間- 一日一本或は二本





4 〇円七五 一門五〇 三円OO 100 H

日英米佛製法 具特許

然らざれば淋疾は根本的に全治せず 性、慢性を同はず男子の神疾を至治するに 野底規期間に提続する事は不可能である 内容が水流 虫 醫 後 藥 腸を K Ø 0 健 代 粒

シリンターボーリング スリーブ入換に専門の最新技術ある 自 修 話 繕

再發を防止 再發せる患者に對しては、速かにウラルゴールの短管、或與ふるが通例である。故に再發の恐れあるもの、及び既に與ふるが通例である。故に再發の恐れあるもの、及び既に好験値して旺盛となり、感染常初に劣らざる苦痛を患者に特膜の側面に潜伏せる淋菌は、ここに生活力を復活し、再時候の變り目、或は飲酒其他の不揉生を犯すほに、八連時候の變り目、或は飲酒其他の不揉生を犯すほに、八連 せよ

下水道。修繕並に 給排水設備工事は

(3)四三三五番へ 中央近四十二番ノニ 蓮見 務

前場留停スバ電溝通橋本日 店計時堂正大

時計

正匠フードルマン渾身モーツアルト 育春の大作 お奏曲

話 六三六五 番 亞

へ御下命願ひ上

和

T. 101

特製品カステー 用 達 カネタ

店廳沒

いいというという

い装置富着荷

命 ひ當店

村岡気服

用

冬服の御用命は ・・吉野男の丁目・・・・ 稅 港 大連て

既製服が豊富に取揃へました 多服生地は豐富に着きました 汗服は 断製服のマツ ヤ洋服店へ

**** 三二九四五

康徳自動車工場で

帰造品有 御注意を 奉天加茂町

| 第日本美 七世人

各地菜店販賣

金剛製薬

/んさガモの那支

が丈夫に育つだらうとか、よく出が丈夫に育つだらうとか、よく出

孔をやつてゐると、

健康の秋を利用して

亦ちやんの離乳!!

命定めと言はれる乳離れも・・・ 斯らすれば安全容易に

最に必要になるにも関らず ではなどが多いでは、他にカルシウ では、他にカルシウ では、他にカルシウ では、他にカルシウ では、他にカルシウ では、他にカルシウ では、他にカルシウ では、他にカルシウ 唯一 の時期については色

街に、機能がよってめ、例

最も適當な時期は生後七八ヶ月旬

弱い見を襲ふ

のでどうしても母乳ばかりでは気 母乳の中にはからした種物質がは

を解けて西ます。気も注戦も本年度流行の代表的なや源道は凡ゆる候説を関って帰戦と新世紀へのあみの根連は凡ゆる候説を関って帰戦と新世紀へのあみの根連は凡ゆる候説を関って帰戦と新世紀へのあみの根連は日本のある

何の経状のなかで「西方をいのが増吐です。たとへば

いよことが、職戦なやうで、子似の関連を実実にすることに大に役が、の関連を実実にすることに大に役が、のの関連を実実にするという意味ではありませんから、風のある日は、中心せればなりません。 11ヶ形版位に定ったやうに際吐き

一部を歌鮮な外属に倒れさせる

話

秋の日光と外氣!

子供の皮膚に満喫させよ

ではないできましたり、でいるのが管道です。 歌 の四五回にも及び

あるとが人民的なものですから、 ないやらにすることは時ずなるあ 最初からからいよ思い習慣をつけ 民注意せねばならぬのは、この 関位なもので、関白学分に、色 際位なもので、関白学分に、色 のものを早く食べさせて失敗 した例は數へ切れぬ程多いので したりは、ウェファー、極 したりは、ウェファー、極

なるやうでしたら、栗脊斑を飲めの間戦脈に陥づたり、脱脊が悪く ねばなりませんが、何と言つても ながら歴代を進めるのですが、そ 消化不良等を起して命を称はれる 障害です。即ち下痢、嘔吐、歯便 さて 香油脈が出来ないのは消化器の からして低品お子様

庭での手掌も充分心得えて聞くこ 類はねばなりませんが、同時に家 が現はれたら早速駆性とした 下痢ない、海に不良を起

会が動きを整るのが埋滅的です。 一部安全であります。 離れの方法。

(六)

なって本郷を無用させ何。 無乳を 行べば、触ろしい消化で良や下りを未然に防ぎ、配りても何。 無乳を す。 吸帯を丈夫にする作用の優れたが あるのみで

二種の嘔吐ノ 體質改善が絶對必要 対雑魚探び剣法三木喬太郎

號二十二百九千四

を式表にする情報部が阿令田ん

を取りるなに、宇宙戦争ながあって で、既一郎くそうなことがあって で、既一郎くそうなことがあって 一緒に職い子供には内部から構造と

冬に備へる健康工作

九月中閱覽人員

三時ごろ城内東五馬路斯京及山東省生れ住所不定無職糧権

第七小學校の開校は

明年一月の豫定

校長には佐藤眞一氏が決定

消えた風呂の水

好氏

あはや火事

深夜の小盗

新京署長から旅館営家を許可 を もこの際大きな度量を示して を もこの際大きな度量を示して を もこの際大きな度量を示して を もこの際大きな度量を示して

踏倒藝妓

原籍大阪府豊野郡池田原籍大阪府豊野郡池田

路上にのさばる 違反廣告の氾濫 主に日本商に犯す者が多い 當局嚴重撤去を要求

不要な書物は 圖書交換會

下係員總動員で非常識な遠反 んでいづれも入質しては生活大經路警察署では保安主任以 等時價二百數十圓の金品を签告違反者に對し決心を固めた 忍び込んで衣類、時計、現金的交通障害も越しいこれら廣 ざれも深夜に家人の熟睡時にの首都としての都市美を保持 まで市内外十五回に亘つてい

恐しく尻の長い

原籍茨城縣茨城郡大貫町住所 不定大工職高野富職(四○)は 九日朝からひよろく と朝日 通りカフェー「ボッチャン」 に入つて一人でやつてゐたが 「後等時半まで頑張つて七個 二十銭ばかりを吞んで泥醉し

お望みの値段で受付けます

期間は十日=廿五日

海に行はれるので電み大 海間書館の不用圖書目錄と價 格表が備へられるので電場には全

萬六百七十二、雜誌千九百八 數六千六百三十八册、新聞一

輸入ビルの旅館は

組合と關係なし

ルと命名 きのふ正式に許可

伊月潭カメラ作品 けふから展覽

本社主催消月源探勝會に参加 ・ 後開係者により戦策審査をと が 後開係者により戦策審査をと か 後開係者により戦策審査をと か 後開係者により戦策審査をと の に供することとなつた、いづ に供することとなつた、いづ に供することとなった、いづ れも秋色ふかき山谷を徒歩し れり郊外の風景は久しぶりで 三日間ピューロー **清澄掬すべきものがあり、**

の涙をそゝつた、都儀は贖經ん、光秋君の姿は一入會葬者ん、光秋君の姿は一入會葬者 日午後二時より大浦覇線協和理事故石本憲治氏の郡儀は九四郡の職は九四郡の 質館に於て佛式により執行さ 嚴肅に執行 石本氏追悼

朗讃し、

立ち上る、定刻一局蓄席、骨をでに飾られ香燒纏々としてまでに飾られ香燒纏々として 内説町西本願寺に於て攀

きのふ執行

所既に僕かの敷し を以て打切るが定 おトリック

所は、將來

た力も亦大なるものがありた力も亦大なるものがありた。 #新配給所

廿六日落成式

ゲーム取

賣溫

領事館前 第五錦ビル事務所

電(多)五〇

店に就き急募す

泉係

牛試験に 人日選學區

分場設置

新京中央通

小八家子見學團募集 。今夕五時締切

所新設 電々會社では率天青薬町六番 地に奉天平安廣場電報通話収扱所 、新京興安通四〇番地 に新京興安通電報通話収

電報通話取扱

に國際電報を取

山越行政課長 哈爾濱へ

日午前七時二十分新京破列車山越野議事務局行政課長は九 で哈爾濱へ同つた 三老人の皇軍

夜活動を續けてゐる日滿兩國 再さん大遠寄金ヲワリさんの 三老人は滿洲國治安のため日

代議士を辞することになり、出験友實代賞士山本第二郎氏は今回一身上の都合を理由には今回一身上の都合を理由に 代議士を辭任

を得た、仍つて同氏は政友會

電 3 三六五六番 新京飲食店組合 新京飲食店組合

御徳用な質流

冬。洋服オ

類

富に有ります

新京 説町三ノ三 (閉花前)

滿洲電信電話株式會社

ます

倍舊一層御引立のほどをお願ひ致し

おてん一品料理

天領

あまり

三笠町三丁目山粹角(舊濱作改メ)

「兵の三名は負傷した」工會線所副會頭岩崎湾七氏等が曹長、富瀬上等兵、 問題、東京府會議長囲蕃、商で記て一等兵村田常治氏 「田園、東京府會議長囲蕃、商で記て一等兵村田常治氏 「田園、東京府會議長囲蕃、商で設定せしめたが、本 【大連関通】東京府、市並に 泰

東京府市商議の 在滿將兵

慰問

至急御來談下さい

(五一個、五五個、六五個 新春也將和梅1○1

田は堂

かきもち類 卸小賣西

改名披露 富士町四ノ二人呼出(3)ー三〇七九

新京出張 所東亞與業株式會社

產婆 前 田

田商 三級商

花あられ各種





永い間の頭痛の種

(七)

来年から楽になる

(第一三百名が轉校する機様である) ・ 名櫻木小學校を等現地を観、笠校の時難に り料百五十名 と、全の人、一般の結果八島 器轉校するのでやっと一息 ・ ののである年生以下 はること、なつた と、字野公費主任、光野學事 る第七小學校へ約百五十名

與京縣下

社地方課に

地元藝人の養成に 最も離事とされて一式を撃行した。

なり九日同所に於て開場

を行つた送別會の席上、 を 大郎に関策品の土産物を した。そのうちに本意の した。そのうちに本意の

ございます、受験から派門ケ脳へ 性つたり楽たりして居ります、実

能なことが呼ばにあるのだと

「ニッ失策つた、お知台のお祈

一般でも好いから取くないを持

院司原吉前建设基

製創生先明良屋小

常頭と納申り暗貨施甲心狭中輸動高容能 智 ス都・ウ 加 伏徳 電影和鍵 便 り姿だっ 加 鉄元 電影和鍵

影情 1 剔縮了應定房底進定風血化壓房障障

血液循環之瘀血療法

古醫學から新發見

(四大銀五十四)

- 率天日本郵便局私售面 二四號

無代進呈

ががずで申込

記載ノ品贈呈致シ

510

一個の子だちてないかね、 厚りが

お安くかります」

「ヘエ見り質素でどざいます。

ん、大衆がだよ」

を変える、市間ケ臓から炎感へ手 を放る、市間ケ臓から炎感へ手 を放る、市間ケ臓から炎感へ手 を放る、市間ケ臓から炎感へ手 を放ったものでござい ます観音中では常観があつて如卵 に重要な手紙でも主線型素を聞れ に重要な手紙でも主線型素を聞れ に重要な手紙でも主線型素を聞れ で高させれで使じて丁さ、金を設 あった共のでは常観があって如卵 であるにも密観があって如卵 であるにも密観があってが卵 であるにもでして丁むますが、大十年 を放ったものでござい が直にそれで使じて丁むますが、大十年 であるがあれた際じて丁むますが、大十年 である。

なくては帰る」

古图

究

0五

橋陽西八丁稲二の三

の味をオラ版けるのだよ。

H)

脚が火の歌へ掛れば此方も人の門」が見が早いから入脳もそれに置いに立つ版をして符合すからの事で て急ぐので、窓いたはお艶でございます、脚盤かは飛伸屋と云 います。

・ 東で起席、熱飲、食事等の時間は ・ 東である。

事それで何度服をかへ続と思った のがするので保養なく下りて含る が標な仕末でした、あすり危敵な状 が標な仕末でした、あすり危敵な状

で手足の官邸もかなり配かの事行 ・ 大手がで、配轄も常藤がくまで ・ 大手がで、配轄も常藤がくまで ・ 大手がで、配轄も常藤がくまで

東金保をして関ります。所が一時 東金保をして関ります。所が一時 東金保をして関ります。所が一時

たが女の足、仕が

仕だがないから城下

がと、動物化でも脱壊、心臓など、 物と、動物化でも脱壊、心臓など、 があたして、なる可く植物化の食

がフト新聞にてフルチ錠を非 か知れません、而かし此の就

なら苦にならりるになりました此の気ならばフルチにで全性が出来ると気し一年歌歌の歌き歌和中で

象に非常に効目があつて転度の設

の出口で、静脈を呼んだ。

これは焼らぬと一生脈命に展開した。

アレく」

一行つて

ない、比別を受験と云ふのは江戸からが、比別を受験と云ふのは江戸からが、大阪から末間を纏・放降ケ

京

H

新

(禁上級)

二演 啷

闘病のか

は

畵

を養心あ

妖

魔*

無僧に縋り着いたなんぞと噂で

大事、少し人画りの無い場所に かった手のと言はなければなりませれを思ふと背の人間は驚に情なかれを思ふと背の人間は驚に情なか

をおだやかに中和、分解し便適と 製のフルチには、古置学の真髄と 製のフルチには、古置学の真髄と 製のフルチには、古置学の真髄と 関のアルチには、古置学の真髄と では、またも、水年の極減でお は、温便の出なくな る質透御保養できらば自然とお鑑さ なり、またも、またのでは 要から、水年の極減でお の形状を代数に導きます。

御用命个之公

新京室町三日

山前迅速



腦溢血・中風の 原因と古い病毒

動悸・息切れに悩む

のほせ、めまひも薄らぎ 手足の痺れが今では

症

とは

で除分手割もしましたが、どれもで除分手割もしましたが、どれもでなった。 思つた起の効果もなくみちきない。 思った起の効果もなくみちきない 不安の日を過ごしてよりました。 不安の日を過ごしてよりました。 一般的を根理 単変フルチ経 一般的を表現しまった。 を受のでせ、か 後のでせ、か

心臓部に離るなの乳の過から心 一般では、それが懈慢から背中へ、 を動え、それが懈慢から背中へ、 と動え、それが懈慢から背中へ、 でいるがつて行っ でいるがつて行っ でいるがつて行っ を動え、それが懈慢から背中へ、 でいるがつて行っ を動え、それが懈慢から背中へ、 でいるがつて行っ を動え、それが懈慢から背中へ、 でいるがつて行っ を動きでいるがつて行っ を動きでいるがつて行っ を動きでいるがつて行っ を動きでいるがって行っ に対象が出て思はず特げまはつて苦。 のからで呼いるがでは気を感じます とみを家で時には気を失い事もあ しみを家で時には気を失い事もあ しみを家で時には気を失い事もあ しるでいるがのである。

動悸、息切が快方に

血壓・常態近く迄に

ですから思り割らだは一日も見やくフルチ能により悪気がなったは一日も見やないたとり、悪気観楽生になくフルチ能により悪気観楽生にないたとし、





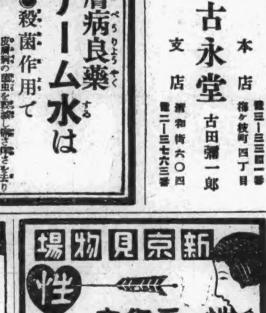
蜘蛛名

五目之

配何レガニ神送り下部第二十號と歩切抜ノ上 *ツスル煉乳會社 大連市山郷漁六七 層病良藥

割烹

3





百內省鄉用灣

中の表末館 二二番 本高店



さあ も來い は 1. ッ 何 シリ。

純質品 働くには





S.

質白蛋性物植は料原

先づ飯だ

味の素で お菜が旨

けりや腹

廣告の御川命は

第四〇〇三三 を野事

働けます。